

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	工学院大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	コウガクインダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	学外研修
	学部・研究科等名	先進工学部・工学部・建築学部・情報学部
	担当教職員名・役職	藤井
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	256
	受入企業等数	192
	受入企業等名	受入機関の承諾を頂いていないため、今回は非公開と致します。
	インターンシップの分類	4.他県をまたぐ広域インターンシップ,6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本学では、毎年、約200社近くの企業や公官庁と契約を結び、300名ほどの学生が実習を行っている。機械・建築・化学・情報等様々な業種で就業体験を実施、受入先により実習内容は異なる。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	全学部3年生を対象に、専門科目の選択必修または選択科目として「学外研修」を位置づけ、夏期休業期間中に実働10日以上での就業体験を実施している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	4月、「履修説明会」でインターンシップの目的や種類を理解させる。5月、「自己紹介書作成講座」及び学生とキャリアカウンセラー1対1による「添削面談」を実施。7月、各学科の指導教員により面談や講義を実施する。その際、企業理解を深めるため、受入機関の概要・特徴をパワーポイント1枚程度でまとめる指導を行う。また、外部講師による「ビジネスマナー研修」を実施。他、任意参加で「応募する機関の選り方講座」を開講。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	9月、職業理解・学業理解・能力開発等の視点からインターンシップを振り返る「インターンシップ振り返り・成果報告書作成講座」を実施、振り返りを行うと同時に、キャリアカウンセラーによる「成果報告書添削面談」を行い、成果報告書を作成する。11月、報告会に向けて「プレゼンテーション講座」(任意参加)を実施、その後、受入機関の方を招いて「成果報告会」を実施している。その際、優秀学生を選出し、12月「優秀発表者表彰式」にて表彰している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている,3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	研修前、対人力・課題解決力等をルーブリック方式で自己評価を行う。研修後、インターンシップで学んだことを自分の言葉で言えるよう「成果報告書」の作成を必須としている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している,3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している

要素⑤	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実働10日間または5日間以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実働10日間または5日間以上
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	全ての企業において、複数の部署または1部署で実習を行い、学生の夏期休暇中に実働10日以上または、5日間以上のインターンシップを実施している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	毎日学生がインターンシップ実施中に作成をする「日誌」の確認・任意でアドバイスの記入、「受入機関の概要・特徴をパワーポイントでまとめたもの」の添削、インターンシップ終了後に働きぶりを評価する「評価表」の作成を行うよう依頼をしている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="http://www.kogakuin.ac.jp/career/design/internship/official.html">http://www.kogakuin.ac.jp/career/design/internship/official.html</a>
問い合わせ先	大学等名	工学院大学
	担当部署名	学習支援課
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	03-3340-0829
	メールアドレス	gshien@sc.kogakuin.ac.jp